Essential Questions

今日の発見、そして2学期に問いかけたい「本質的な問い」

NOBURO HAGIWARA JUL 12, 2019 02:03PM

言語に関する本質的な問い

英語の授業で「本質的な問い」を考える際、例えばキング牧師のスピーチなど、題材的な要素に寄ってしまうと思いました。その時に、英語の授業でその問いをする必然性があるかと考えると、少し分からなくなってしまうような気がしました。そこで、言語的な観点から本質な問いを考えてみたところ、英語について研究していたのである程度、英語の本質に関わる要素が頭に浮かんだのですが、日本語との比較で考えた時に、日本語のことをよく知らないことに気づきました。夏休みに日本語を言語的によく勉強します!
品川女子学院
小藤晃裕

英語の受動態の文章は日本語の自動詞と他動詞との比較がおもしろいと思います。例えば「お茶がはいりました」はどうでしょう。 — NOBURO HAGIWARA

良い問いかけとは・・・

普段自分が本当に良い問いかけをしているのかどうか?
生徒に本質的な問いかけをして、静かに待つことの重要性を学んだ。

生徒が学びたいと思えて、学ぶことができるような環境づくりをしていき、その中で技術よりも芸術の本質にあるもの、自分のこだわり、必然性、表現するとはどういうことかを問いかけていきたい。

芸術作品は（その時の）文化や社会のありようをどのように伝えているでしょうか。芸術家はその作品を鑑賞する人々に対してどのような責任を持っているでしょうか。などのEQはどうでしょうか。 — NOBURO HAGIWARA

ゴーギャン

今日の七転八倒の思考の中で、絵のタイトルが浮かび上がって来ました。

今日の夜の部が

哲学的になりそうな予❤️感

環境をいかに整えられるか

環境が変わり、
教師の「価値観が変わると発問が変わる」

知恵熱が出そうです

今日も楽しかったです。問いの種類を意識すること無く、これまで生徒に投げかけてきてたんだと気づきました。教師の役割は重要です。教師のたった一つの問いで生徒の思考が加速していく。そんな役割でないといけないです。そんな本質的な問いをたくさん生徒に送りたいです。そのために、もっと悩まないといけないです。何を教えるかではなく、どんな資質能力を身につけてほしいかを考え、そのための問いを考えます。これはAIにはできないでしょう。教師は必要です。「GWどうでした？」は本質的な問いなのではないでしょうか?

EQの7つの要素を照らし合わせると、Open-endedではありますが、２、３、４、５、６が欠けていると思います。 — NOBURO HAGIWARA

問い

高品質な問いによって、良質な思考ができる。

問いは量ではなく質が大切だと思います。 — NOBURO HAGIWARA

自分が

自分が探求者であること。自分が求道者であること。自分が無知な世界は広大であること。そこにチャンスがあること。そんな教員でありたい。

本質的な問い

は、範囲と目的によって分類できる。
範囲を広めに取ったessential questionと必要に応じたguiding questionsの組み合わせが、今の子どもたちには有効だと感じる。スキルに焦点を当てたessential questionsにも挑戦したみたい。

箱庭から世界に

Essential Questionの広がりをおぼろげながら実感できて、やっていこうと思えました。

解なき問い

本質的な問いにも種類がある
・範囲、目的に沿って問う
・本質的な問いもリーディングクエスチョンやガイドとなる問い、そして興味関心を引きつける問いを含んでいる
本質的な問いに対しても無関心な生徒を引きつけ、問いに向かせるほどの本質的な問いを考えたい

> *"Essential Questions" の本の中で自分の考えを言うことを躊躇しているのを隠すために無関心を装う生徒がいる場合の方法について事例があがっています。Suggestions Think like a coach; watch the students "play the game" and take notes for later follow-up. Provide think time and ask learners to write some notes about what they will contribute when/ if called upon. Share ideas in groups of two or three first; then come up with a single contribution. Alert shy or quiet students to a question that you will ask to enable them to prepare. Teacher (and students) might watch a video of a model discussion to better understand the nature of the activity, how it works, and how a different kind of control is required.* — **NOBURO HAGIWARA**

年にひとつは

年にひとつは自分の授業で、生徒が、それ以降、考え続けているような「問い」を提示できたらいいなあと思っています。
練り上げられた「問い」というのはおそらくカリキュラム全体を通してみて初めて考えられることでもあるのだと思うので、些末なことにとらわれずに、大局的に見てカリキュラムを整備していきたいと思います。

本質的な問いについて

「問い」って本来どうあるものなのか…という問いを持ち続け、疑問を持ちながら授業で問いづくりをやってみたり、いくつか著書を読んで、研修などに参加したりもしてきました。本日の学びを通して、疑問に思っていたことがすっきりした部分がたくさんありました。また、新しいつながりと刺激もたくさんあり有意義な時間を過ごせました。

設定範囲の難しさ

あまり質問の範囲を大きくしすぎると生徒が考え出すときに躊躇してしまう。一方、範囲が狭すぎるとバリエーションに乏しい答えや、答えを誘導しているようになってしまう。そのバランスが非常に難しいと感じました。本質的な質問に繋がるような質問も含めて、「気象（地震）」と「電気」についての質問をもう少し考えたいと思います。

問いの種類

日頃自分が投げかけている問いが何を目的としているものか、これまで丁寧に考えて来ていなかったように思います。2学期は自分が発する問いの目的を考えながら、生徒と接していきたいと思いました。Essential Question、難しいです.....

問いの質

自分自身の投げかける問いの質について、反省し考えさせられました。確たる目的を持った授業デザインの一環としての問いを、改めて練ることを大切に自分自身も深い理解を目指します。

問いの重要性

丁寧にStepを踏ませていただけて，より深まりました。
「本当に学ばせたいことは何か？」自分自身に自問自答を繰り返して，根っこにあるものを掘り出すことで，良い問いに到達できることを実感しました。
スイッチしっかり切ってきます。北アルプスでテント泊縦走。

> *写真を見せていただくことを楽しみにしています。*
> — **NOBURO HAGIWARA**

本質的って。
今日の発見、本質的な問いには、目的と「種類」があって、教科の枠だけで考えると限界があり、教科のナンセンスさが身にしみる。担当科目ベースで考えたが、もっと多様な側面から議論や思考したい、生徒とともに。

> *明治時代に確立した教科の枠組みが今日の社会には通用しないことが明確になっていると思います。新しい教科、例えばプログラミングなどを加えることが解決ではなく、教育課程の全改編が必要なのだと思います。* — **NOBURO HAGIWARA**

本質的な問い

なかなか本質的な問いを考え出すのは、難しい。考えついたとしても、生徒がどう反応するか、確かに不安はある。しかし、まずは二学期にチャレンジしてみたい！

本質について

今日は「本質とは何か？」を深く考えました。
夏休み中に中2を連れてイングリッシュキャンプに連れて行くので、「どうすれば、日本人は他国の人と理解しあえるのか？」というテーマで考えてみたいと思います。ありがとうございました。
明星中学校・高等学校
近藤正和

教師も答えを知らない

自分がいままで本質的な問いだと思っていたものが、実はLeading Questionsだったり、Guiding Questionsだったりして、そもそも問いってなんのためにするのだろう？ こういうことを聞くことは必要なのだろうか？ と考える契機になりました。問いを発して生徒が答えたからといって双方向な授業と言えるわけもなく、むしろ生徒からの質問によりクラスの学びが深まることも多分にあるという経験を想起しました。

いま本校ではじめてPBLに取り組んでいます。生徒たちにSDGsを投げかけ、これから訪れる教育旅行の土地の課題を発見し、その解決のために自分たちが何ができるのかを考えて行動するプログラムです。
教員たちはPBLのノウハウを学びはしましたが、実際やってみると上手くいかないことも多く都度修正しながら進んでいます。教員も手探りです。先日全体会があって、その場で、「みなさんは私たち教員もわからない答えのない問いに取り組んでいる」という話をしました。今日のクロージングで、教師も学習者であることを子どもたちに感じさせ、探求心の豊かな共同体をつくることの大切さを再認識しました。今日もありがとうございました。

> *SDGsは課題性が高いのでPBL,CBLの入口に使われますが、Open-endedで間口が広すぎるので子どもたちにとってHookが見つかりにくいのが現状です。東北の先生方が実践した綴方教育のように、日常の自分たちの生活を見つめる習慣を今の子どもたちにも生むことが必要だと思います。それなしでは、子どもたちの活動は上滑りをし解決案は浅薄なものになってしまいます。* — **NOBURO HAGIWARA**

本質的な問い

問いと指示の違い
問いは指示ではない

広大附属福山の平田

教育実習生に指導する中で、本質的な問いを立てさせる重要性を感じていた。しかしどう指導していいのか、どのような要素が必要なのかわからなかった。本日の講座の中では少し理解することができた。
本質的な問いを立てることは難しく、試行錯誤が必要だと思った。しかし自分が授業をする上で常に考えている、「50分の中でいかに考えさせるか」のヒントになりそうだと感じた。また、文科省のいう「深い学び」は、本質的な問いから始まる活動のことを示しているのではないかと思った。

> *EQとGQを1組用意するのはどうでしょう* — **NOBURO HAGIWARA**

「本質的な問い」を目指していたつもりがいつのまにかleading questionsになってしまっていました。同じ内容でも、言葉の使い方１つでどんな発問になるのか変わるのかなと思いました。
今日作った問いをもっと洗練させて、2学期に授業をしてみたいと思います。私自身も、この問いについて1ヶ月間継続的に思考・探究します。

「指導しなくても、生徒たちが自然に教科書に書いてあることを学んでいる状態」を目指したいと思います！

> *Active learningの究極ですね。* — **NOBURO HAGIWARA**

❋❋❋❋❋❋